

# 岩盤ボーリング柱状図

調査名 其他水系、大盤川支川、災害関連緊急砂防事業に伴う地質調査業務委託（大盤川支川）電子納品用

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BV-1		調査位置	広島県呉市広長浜地内		北緯	34° 12' 56.7202"			
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			調査期間	平成31年 2月22日～平成31年 2月23日		東経	132° 37' 10.8508"		
調査業者名				主任技師			現代理人			
孔口標高	43.91m	角			方			地盤勾配	水平 0°	
総掘進長	5.00m	度			向			使用機種	東邦地下工機D-0	
								エンジン	ヤンマーディゼルNFD13-EK	
								ポンプ	東邦地下工機BG-3C	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	割れ目の形状	岩級区分	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 ● cm R Q D — [ % ]	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					原室内試験	削孔状況	状況				
														深度 - N 値 図	N 値	深	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	削孔速度 (cm/min)	コアチップ・ビット	回転数 (RPM)
1	42.36	1.58	砂質土	暗茶							0 [ 0 ] (100)	崩積土。 主に細砂～中砂である。GL-0.50m以浅では植物片を多く含む。	2.24 無し	1.15	5	50	50	1000	90	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	41.81	2.10	風化花崗岩	茶褐色	w4			E	VI	d	39 [ 65 ] (100)	強風化した粗粒花崗岩。 コアは砂状を呈す。 花崗岩組織は肉眼で明瞭に確認できる。		1.48	50	50	488	150	10	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
3	41.31	2.60	花崗岩	茶青灰	w2	h1		C	III	b	23 [ 65 ] (100)	風化した粗粒花崗岩。 GL-2.10～4.00m間のコアは、短柱状～柱状を呈し、表面は滑らかである。 ハンマーによる打撃で濁音がし、割れる程度の硬さである。		2.05	50	50	111	150	10	0.180	1.0	1.0	1.0	1.0	
4	40.91	3.00	花崗岩	茶青灰	w2	h1		C	III	b	23 [ 65 ] (100)	ハンマーによる打撃で濁音がし、割れる程度の硬さである。 GL-4.00m以深のコアは砂状主体で、指圧で容易に崩れる程度の硬さである。		3.00	貫入不能	貫入不能	111	66	10	0.180	1.0	1.0	1.0	1.0	
5	39.91	4.00	風化花崗岩	暗灰	w4			D	VI	d	0 [ 0 ] (100)	GL-4.00～4.15mは一部コア外径を残し、ハンマーの軽打で砂状に崩れる硬さである。 長石は長径1.0cm以上で比較的大きい。		4.20	50	150	130	150	20	0.180	1.0	1.0	1.0	1.0	
6	38.91	5.00	風化花崗岩	暗灰	w4			D	VI	d	0 [ 0 ] (100)			4.33	150	30	130	130	20	0.180	1.0	1.0	1.0	1.0	